

2014年2月6日

プレスリリース

本資料は2月6日にチューリッ
ヒで発表されたプレスリリース
の翻訳版です

クレディ・スイス・グループ

2013年通期及び同年第4四半期業績を発表

クレディ・スイス・グループの2013年第4四半期業績は、

公表コア税引前利益4億2,800万スイス・フラン(CHF)、前年同期(3億8,500万CHF)比11%増

基礎的*税引前利益13億2,100万CHF、

プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント事業部門の強力な収益力と、特に株式業務と引受業務が好調であったインベストメント・バンキング部門の堅調な業績を反映

2013年通期業績：

公表コア税引前利益44億6,100万CHF、前年(18億8,800万CHF)比136%増

基礎的*税引前利益58億1,000万CHF、

戦略的フランチャイズの強さを具体的に示した格好

戦略的事業に関する株主資本利益率13%。

取締役会は、2013年度の現金配当として1株当たり0.70CHFを提案する予定で、当核配当支払にはスイス国内源泉徴収税は適用されない。

2013年第4四半期コア業績：

- 公表業績：税引前利益4億2,800万CHF(訴訟関連引当金5億1,400

万 CHF を含む) 、株主資本利益率 3 %

- 基礎的*業績 : 税引前利益 13 億 2,100 万 CHF、株主資本利益率 9%
- 戦略的事業業績 : 税引前利益 14 億 6,100 万 CHF、株主資本利益率 11%

2013 年通期コア業績 :

- 公表業績 : 税引前利益 44 億 6,100 万 CHF、株主資本利益率 8%
- 基礎的*業績 : 税引前利益 58 億 1,000 万 CHF、株主資本利益率 10%
- 戦略的事業業績 : 税引前利益 71 億 4,500 万 CHF、株主資本利益率 13%

プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門 :

- 2013 年第 4 四半期業績 : 公表税引前利益 8 億 7,000 万 CHF。これには米国税務問題において証券取引委員会 (SEC) に関連した訴訟関連引当金 1 億 7,500 万 CHF が含まれる。当社は本件の解決に向けて取り組んでいる。戦略的事業における強力な収益力により、税引前利益 10 億 5,700 万 CHF を計上、バーゼル 3 配賦資本税引後利益率は 34%。
- 2013 年通期業績 : 公表税引前利益 36 億 8,600 万 CHF、戦略的事業の税引前利益は前年と比較して増加。これはフィー・ベース業務の大幅増収によるものである。アセット・マネジメントの税引前利益は前年比 32%増、同部門内の収益創出においてアセット・マネジメント・フランチャイズの組織再編の重要性が際立った。
- 2013 年の公表新規純資産合計は 321 億 CHF、エマージング市場及び超富裕顧客 (UHNWI) 層を中心に引き続き増加。

インベストメント・バンキング部門 :

- 2013 年第 4 四半期業績 : 公表税引前損失 4,000 万 CHF。これには係争中の抵当貸付関連の訴訟引当金 3 億 3,900 万 CHF が含まれる。戦略的事業は堅調な業績で、税引前利益は 4 億 8,500 万 CHF。収益成長を牽引している利益率の高い事業全体にわたって市場シェアを維持。

- 2013 年通期業績：公表税引前利益 22 億 4,300 万 CHF。収益性の改善により、戦略的事業の税引前利益は前年比 13%増となったが、収益のわずかな減少、コスト基盤の縮小、レバレッジ及び資本使用の減少を反映している。戦略的事業のバーゼル 3 配賦資本税引後利益率は 19%。

資本及びレバレッジ・ポジションが引き続き改善、2013 年末目標額を既に上回る：

- ルックスルーのバーゼル 3 CET1 比率は 10.3%に上昇、2013 年第 4 四半期末現在のルックスルーの自己資本比率は 16.1%に上昇。
- レバレッジ・エクスポージャーが 2012 年第 3 四半期末から 20%減の 1 兆 1,300 億 CHF に減少（2013 年第 4 四半期末現在）、2013 年第 4 四半期末現在のルックスルーのスイス国内レバレッジ比率は 3.8%。

コスト節減対策の更なる進展：

- 2013 年末現在のコスト削減額は 31 億 CHF となり、2011 年上半期調整済み*年率換算ランレート比で、2015 年末までに費用ランレート削減目標 45 億 CHF 超を達成できる見通し。
- 2013 年通期の従業員報酬及び給付費用は、クレディ・スイス・グループ全体で前年比 8%減、インベストメント・バンキング部門で前年比 10%減。

決算ハイライト						
単位：百万 CHF (別途記載がある場合を除く)		4Q13	3Q13	4Q12	2013	2012
基礎的業績	税引前利益	1,321	933	1,189	5,810	5,017
	希薄化後 1 株当たり利益 (CHF)	0.47	0.40	0.41	2.27	2.36
	株主資本利益率(%)	9%	7%	9%	10%	10%
公表業績	税引前利益 (コア業績)	428	688	385	4,461	1,888
	株主帰属純利益	267	454	263	3,069	1,349
	希薄化後 1 株当たり利益 (CHF)	0.08	0.26	0.09	1.65	0.79
	株主資本利益率(%)	3%	4%	3%	8%	4%
	ルックスルーバーゼル 3 CET 1 比率(%)	10.3%	10.2%	8.0%	10.3%	8.0%
	ルックスルー・スイス国内合計資本レバレッジ比率 (%)	3.8%	3.2%	-	3.8%	-
戦略的事業	税引前利益	1,461	1,390	1,691	7,145	6,267
	費用/収入比率(%)	75%	75%	71%	72%	75%
	株主資本利益率(%) ¹	11%	10%	15%	13%	15%
非戦略的事業	税引前利益	(1,033)	(702)	(1,306)	(2,684)	(4,379)

1: 年率換算の「戦略的事業」純利益を、公表株主資本から非戦略的事業リスク加重資産の 10%を控除することにより得られた「戦略的事業」平均株主資本額で除して算出した「戦略的事業」業績の株主資本利益率

クレディ・スイス・グループは、2014年2月6日、2013年第4四半期業績及び同年通期業績を発表しました。

今回の発表について、最高経営責任者 (CEO) のブレイディ・ドゥーガンは、次のように述べました。

「2013年の当社は、優先事項を、収益力のさらなる向上、資本ポジションの継続的な強化、規制資本リスク及びレバレッジ・エクスポージャーの低減化に置いた一方、ターゲット市場におけるシェア拡大に努めました。これらの目標の達成に向けて、大きな進展があったと同時に、グループ及び2つの事業部門の両レベルで数多くの追加の戦略的措置を講じ、引き続き当社の事業変革を進めました」

グループ全体の業績について、「当社は、2013年の年間を通じて堅実に収益を計上し、戦略的事業において年間の税引後株主資本利益率 13%を達成し、当社のコア・フランチャイズ事業の強みを具体的に示すことができました。さらに、引き続き厳格なコスト管理に努め、従業員報酬及び給付費用をグループ全体で8%、インベストメント・バンキング部門で10%削減しました」

グループ全体の主な達成事項について、「2013年10月に非戦略的事業ユニットを新たに設立すると発表しましたが、これによって、利益率の高い事業への経営資源の移行の加速化が可能になり、この措置は、当社の2つの事業部門間でのよりバランスのとれた資本配分への改善に向けた重要な対策の一つです。2013年中、『大きすぎて潰せない』問題に対処する当社の努力に進展がありました。2013年11月、当グループに所属する事業体の構成を発展させるプログラムを発表しました。この目的は、再建・破綻処理計画における今後の要件を充足するとともに、新たな規制要件に鑑み、業務基盤の大幅な簡素化と効率化を図ることにあります」

さらに、「当社は、2012年7月に発表した資本計画の大部分を完了し、ルックスルーのバーゼル3 CET1 比率 10.3%で2013年を終えました。同時に、レバレッジ・エクスポージャーを更に低下させ、ルックスルーのスイス国内レバレッジ比率は、2013年末現在で3.8%となりました。当社の予備評価に基づき、バーゼル委員会が改定したレバレッジ比率算定ガイドラインによると、2013年末の当社の比率は約4%に上昇し、2019年のスイス国内要件を満たすこととなります。当社は、2013年に60億CHFのロー・トリガー・キャピタルノートの発行に成功し、2019年のスイス国内累進資本要件達成まであと約30億CHFに迫りました。さらに、2013年の従業員報酬体制の一部として、Tier1資本を追加する利点はもちろん、従業員報酬のインセンティブが当グループの資本強化に整合するような同様の商品を導入いたしました。」

事業部門の業績について、「プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門において、2013年における戦略的事業の収益力を改善しました。これには、再編されたアセット・マネジメントのフランチャイズ事業における税引前利益の前年比32%の増加が含まれています。また、引き続き経営資源を成長分野に再配分し、ウェルス・マネジメント顧客事業内のエマージング市場からの新規純資産成長率は8%を記録しました。同事業については、更に強力な成長の可能性があると見ています。加えて、2013年には、当社の成熟市場におけるカバレッジの修正についても引き続き進展があり、その一つとしてドイツにおける当社の事業活動の再編を行いました。また、スイス国内においては、当社の強固なポジションを引き続き活用しました。エマージング市場において事業を成長させ、成熟市場においては顧客ニーズに対応させるべく事業の調整を続けることによって、プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門の収益力改善に引き続き注力していきます」

「インベストメント・バンキング部門においては、当社の戦略的事業は、2013年第4四半期に堅調な業績を上げ、通期で収益力と利益率を改善しました。利益率の高い事業において市場シェアを維持し、これがコスト基盤縮小、レバレッジおよび規制資本使用の低減化とあいまって、2013年にバーゼル3配賦資本税引後利益率19%を達成することができました。我々は、同部門を、トップ3エイクティ・フランチャイズ、強力かつ収益力の高い引受及びアドバイザリー業務、高運用利回りの事業に重点を置いた債券フランチャイズ事業などを含む組織に改革したことから、2014年にも引き続き顧客ニーズに対応し、高い運用利益と収益力を上げられる体制が整ったものと確信しています」

今年の見通しについて、「本年のこれまでの業績は、事業によっては多少のばらつきがあるものの、過去年に見られた幸先の良い出足とおおむね一致しています。当社の戦略的事業には引き続き成長モメンタムが見られ、これと、各非戦略的事業ユニットのポジションと損失を漸次縮小させることが出来れば、年間で目標株主資本利益率15%を達成できると確信しています」。

訴訟関連引当金の近況

2013年第4四半期において、クレディ・スイス・グループは、抵当貸付関連の訴訟引当金3億3,900万CHF及び米国税務問題において証券取引委員会（SEC）に関連した訴訟関連引当金1億7,500万CHFを計上しました。我々は、本件の解決に向けて取り組んでおります。

コスト節減の近況

2013年第4四半期末現在、クレディ・スイス・グループは、2011年上半期の実績から推定した調整済み*年率換算ランレートと比較して、31億CHFのコスト削減を実現しました。クレディ・スイスは2015年末の合計ランレート削減目標額45億CHFを達成できる見通しです。コスト節減

施策の一つとして、2013年通期の従業員報酬及び給付費用を、グループ全体で2012年と比べ8%、インベストメント・バンキング部門で10%削減しました。2013年第4四半期にコーポレート・センターで認識した事業再編費用は1億3,100万CHFでした。

資本と資金調達

2013年第4四半期末現在のクレディ・スイス・グループのルックスルーの自己資本比率は16.1%で、2013年第3四半期末現在の14.5%から上昇しました。また2013年第4四半期末現在のバーゼル3 CET 1比率は10.3%で、2013年第3四半期の10.2%から上昇しました。

2013年第4四半期末現在のバーゼル3 CET1比率は16.0%、2013年第3四半期末現在は16.3%でした。これは主としてリスク加重資産の増加によるものでした。グループ全体のバーゼル3リスク加重資産は、2013年第3四半期末現在の2,693億CHFから2%増加し、2013年第4四半期末現在で2,738億CHFになりましたが、これは、市場リスクのわずかな増加を伴ったオペレーショナルリスクの増加が、信用リスクの減少と外国為替換算による減少によって一部相殺されたことによります。

2013年第4四半期末現在のクレディ・スイス・グループのレバレッジ・エクスポージャーは、1兆1,300億CHFで、2012年第3四半期末から20%減少しました。2013年第4四半期末現在のルックスルーのスイス国内レバレッジ比率は3.8%で、2013年第3四半期末現在の3.2%から改善しました。

クレディ・スイス・グループは、引き続き保守的に流動性の管理を行っており、2013年第4四半期末現在、現行FINMA枠組みに基づく推定長期安定調達比率(NSFR)は100%を超えています。

配当提案

2014年5月9日に開催予定の年次株主総会で、取締役会は、1株当たり0.70CHFの現金配当を、2013事業年度の資本剰余金から支払うことを提案する予定です。当社は、今回の支払いを、今後配当金支払を継続するための基盤とすることを意図しており、引き続き、戦略の実行と残された課題の解決を行ってまいります。

今回の配当支払については、スイス国内の源泉徴収税は非課税で、個人投資として株式を保有するスイス国内居住者に課税される所得税の課税対象になりません。

統合事業モデルのメリット

2013年第4四半期中に、クレディ・スイス・グループは、統合事業モデルから11億1,200万CHFのコラボレーション収益を創出しました。この金額は、当グループの2013年第4四半期のコア純収益の18.6%に相当します。

2013年第4四半期部門別業績の詳細

プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門

- ・ 2013年第4四半期の公表純収益合計は34億3,800万CHFで、前年同期及び2013年第3四半期を共に上回りましたが、これは以下を反映したものです。

- ・ 戦略的事業におけるトランザクション及び運用業績ベースの収益の改善
- ・ アセット・マネジメントにおけるヘッジ・ファンドとオルタナティブ商品の好調な運用と運用手数料収入の増加
- ・ 公表営業費用合計は 25 億 3,600 万 CHF となり、前年同期、2013 年第 3 四半期をともに上回りました。2013 年第 4 四半期の費用には、米国税務問題において証券取引委員会 (SEC) に関連した訴訟関連引当金の増加が含まれています。我々は、本件の解決に向けて取り組んでおります。
- ・ 2013 年第 4 四半期の新規純資産：ウェルス・マネジメント顧客事業の正味資産流入は 17 億 CHF で、これはエマージング市場における継続的な増加が西欧市場のクロスボーダー流出によって一部相殺されたことによるものです。コーポレート&インスティテューショナル顧客事業は 40 億 CHF の大幅な正味資産流入を獲得し、アセット・マネジメント事業は 5 億 CHF の正味流出となりました。

事業部門別業績：プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント						
単位：百万 CHF (別途記載がある場合を除く)		4 Q13	3 Q13	4 Q12	2013	2012
公表業績	純収益	3,438	3,316	3,314	13,451	13,474
	貸倒引当金繰入額	32	34	68	140	182
	営業費用合計	2,536	2,264	2,335	9,625	9,517
	税引前利益	870	1,018	911	3,686	3,775
	費用/収入比率(%)	74%	68%	71%	72%	71%
	バーゼル 3 配賦資本利益率(%)	26%	30%	28%	27%	29%
戦略的業績	純収益	3,269	2,934	3,217	12,443	12,343
	貸倒引当金繰入額	27	13	47	82	139
	営業費用合計	2,185	2,113	2,141	8,725	8,830
	税引前利益	1,057	808	1,029	3,636	3,374
	費用/収入比率(%)	67%	72%	67%	70%	72%
	バーゼル 3 配賦資本利益率(%)	34%	26%	35%	29%	28%
非戦略的	純収益	169	382	97	1,008	1,131
	営業費用合計	351	151	194	900	687
	税引前利益	(187)	210	(118)	50	401

戦略的事業業績：

プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門の戦略的事業業績は、ウェルス・マネジメント顧客事業、コーポレート&インスティテューショナル顧客事業、アセット・マネジメント事業の各事業から構成されています。2013 年第 4 四半期の同部門の戦略的事業の公表税引前利益は 10 億 5,700 万 CHF、純収益は 32 億 6,900 万 CHF でした。

2013 年第 4 四半期の純収益は、前年同期比で微増となりましたが、これは、トランザクション・ベース、運用業績ベース収益の増収、経常手数料等収入の増加が、その他の収入と純利息収入の減少によって一部相殺されたことによるものです。2013 年第 3 四半期との比較において、純収益は 11% 増加しましたが、これは主として時季的な運用業績手数料の大幅増加によるものです。

2013年第4四半期の営業費用合計は、21億8,500万CHFで、前年同期及び2013年第3四半期を共にわずかに上回りました。正味融資ポートフォリオ2,120億CHFに対して設けた貸倒引当金は、2,700万CHFでした。

ウェルス・マネジメント顧客事業の2013年第4四半期の税引前利益は4億7,500万CHF、純収益は20億6,500万CHFでした。純収益は、前年同期比で安定的に推移しましたが、これは、經常手数料／フィーの収益の増加が、純利息収入の減少によって相殺されたことによります。2013年第3四半期と比べ、トランザクション及び運用業績ベースの報酬が若干増加したことにより、純収益は安定していました。2013年第4四半期のグロス・マージンは、104ベーシス・ポイント(bp)で、前年同期に比べ5bp低下しましたが、これは主として、不利な金利環境が続き、平均運用資産が5%増加したことによるものです。2013年第3四半期に対して、グロス・マージンは、1bp低下しましたが、これは主として平均運用資産の増加によるものです。2013年第4四半期の営業費用合計は、15億7,200万CHFで、前年同期と比べ、安定的に推移し、2013年第3四半期比3%増でした。

コーポレート&インスティテューショナル顧客事業は、スイス国内のコーポレート&インスティテューショナル顧客及び世界中の銀行のニーズに対応した包括的サービスを提供しています。2013年第4四半期の税引前利益は2億1,300万CHF、純収益は4億8,500万CHFでした。2013年第4四半期の純収益は、前年同期を9%下回りましたが、これは主として、低金利環境の結果としての純利息収入の減少と前年同期に計上した回復事例関連の利益2,500万CHFによるものです。2013年第3四半期に対して、2013年第4四半期の純収益は3%減少しましたが、これは主として、經常手数料等の収入の減少によるものです。2013年第4四半期の営業費用合計は2億6,300万CHFで、前年同期を4%下回りましたが、2013年第3四半期を3%上回りました。2013年第4四半期の貸倒引当金繰入額は、正味融資ポートフォリオ620億CHFに対して900万CHFを計上しました。

アセット・マネジメント事業の2013年第4四半期の税引前利益は3億6,900万CHF、純収益は7億1,900万CHFでした。2013年第4四半期の純収益は、前年同期、2013年第3四半期を共に大幅に上回りましたが、これは運用業績手数料とプライベート・エクイティ・プレースメント・フィーの増加によるものです。運用業績手数料は通常、第2四半期と第4四半期の年2回、又は第4四半期の年1回に認識されます。經常手数料ベース・マージンは39bpで、前年同期と2013年第3四半期の38bpを上回りました。これは、運用資産の増加に沿うものです。

非戦略的事業業績：プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門の非戦略的事業業績には、旧アセット・マネジメント部門の再編に関連したポジション、小規模市場撤退施策に関連したランオフ（漸次縮小）業務とレガシー・クロスボーダー関連ランオフ業務、訴訟関連費用（主として米国税務問題関連）、ドイツ・オンショア業務の再編の影響分、その他旧コーポレート&インスティテューショナル顧客事業における非戦略的ポジションの縮小、いくつか金融商品の漸次縮小などが含まれています。

2013年第4四半期に、プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門の非戦略的事業は、1億8,700万CHFの税引前損失を計上しました（前年同期は1億1,800万CHFの税引前損失を計上）。これは、米国税務問題において証券取引委員会（SEC）に関連した訴訟関連引当金の増加によるものです（我々は、本件の解決に向けて取り組んでおります。）。2013年第3四

半期に、非戦略的事業では、2億1,000万CHFの税引前利益を計上しましたが、これには、旧アセット・マネジメント部門の各種事業の売却益が含まれています。

新規純資産：プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門は、2013年第4四半期に新規純資産44億CHFを計上しました。ウェルス・マネジメント顧客事業の戦略的事業ポートフォリオが、17億CHFの新規純資産の獲得に貢献しましたが、これは、エマージング市場からの継続的な力強い流入が、継続的な西欧市場のクロスボーダー流出によって一部相殺されたことによります。コーポレート&インスティテューショナル顧客事業は、2013年第4四半期で40億CHFの正味流入を記録しました。アセット・マネジメント事業は、2013年第4四半期に5億CHFの純資産流出を記録しましたが、これは主として、マルチアセットクラス・ソリューション及び債券商品からの流出が、インデックス戦略及び信用商品への流入によって一部相殺されたことによるものです。

インベストメント・バンキング部門：

- 2013年第4四半期の業績には、戦略的事業の堅調な業績と非戦略的事業の税引前損失の増加が含まれていますが、これは、係争中の抵当貸付関連の訴訟引当金の増加によるものです。公表純収益合計は27億2,500万CHFで、前年同期及び2013年第3四半期をともに上回りました。これは以下を反映しています。
 - 各種戦略的事業の堅調な業績：エクイティ、信用、引受の各フランチャイズ事業の好調な業績が、金利事業の業績の低迷によって一部相殺された
 - 非戦略的事業の純収益損失 (net revenue loss) の減少
- 公表営業費用合計は、27億5,700万CHFで、前年同期及び2013年第3四半期をともに上回りましたが、これは、訴訟関連引当金の大幅な増加と従業員報酬及び給付費用の増加によるものです。

部門別業績：インベストメント・バンキング						
単位：百万CHF（別途記載がある場合を除く）		4Q13	3Q13	4Q12	2013	2012
公表業績	純収益	2,725	2,552	2,664	12,622	12,558
	貸倒引当金繰入額	8	7	2	13	(12)
	営業費用合計	2,757	2,316	2,364	10,366	10,568
	税引前利益	(40)	229	298	2,243	2,002
	費用/収入比率(%)	101%	91%	89%	82%	84%
	バーゼル3配賦資本利益率(%)	-	4%	5%	10%	8%
戦略的事業	純収益	2,812	2,748	2,950	13,181	13,385
	貸倒引当金繰入額	8	7	3	11	(12)
	営業費用合計	2,319	2,070	2,197	9,300	9,970
	税引前利益	485	671	750	3,870	3,427
	費用/収入比率(%)	83%	75%	75%	71%	75%
	バーゼル3配賦資本利益率(%)	10%	13%	15%	19%	16%
非戦略的事業	純収益	(87)	(196)	(286)	(559)	(827)
	営業費用合計 ¹	438	246	166	1,068	598
	税引前利益	(525)	(442)	(452)	(1,627)	(1,425)

¹ 貸倒引当金繰入額、従業員報酬及び給付費用、その他の費用を含む。

戦略的事業業績：

インベストメント・バンキング部門内の戦略的事業は、2013年第4四半期に税引前利益4億8500万CHF、純収益28億1,200万CHFを計上しました。

債券セールス及びトレーディング業務の収益は、8億800万CHFで、前年同期を32%下回りましたが、これは顧客取引活動、とりわけグローバル・マクロ商品（金利、外国為替、コモディティーズ関連商品を含む）の取引が引き続き低迷したことによります。2013年第4四半期の収益は、2013年第3四半期を22%下回りましたが、これは、レバレッジド・ファイナンス、エマージング市場、金利の各事業における顧客取引活動の低迷によるものです。

株式セールス及びトレーディング業務の収益は10億8,700万CHFで、前年同期を21%上回りましたが、これは、引き続き市場主導する状況にであったこと、株式ポジションの時価の上昇及び顧客活動の活発化によるものでした。2013年第3四半期に対して、株式セールス及びトレーディング業務は安定的に推移しました。

引受及びアドバイザー業務の収益は9億5,100万CHFで、前年同期を3%下回りましたが、これは株式引受の好調な業績が、社債引受とアドバイザーの両業務の減収によって一部相殺されたことによります。2013年第3四半期と比べた場合、2013年第4四半期の引受及びアドバイザー業務の収益は35%増となりましたが、これは主として、好調な株式引受発行業務と社債引受及びアドバイザー業績の改善によるものです。

従業員報酬及び給付費用は13億3,500万CHFで、前年同期を17%、2013年第3四半期を22%上回りましたが、これは、裁量的業績連動報酬関連費用の増加によるものです。その他の営業費用合計は、前年同期を7%下回り、2013年第3四半期に対しては安定的に推移しました。

2013年第4四半期の業績は、スイス・フランに対する米ドルの平均為替レートの下落が、前年同期及び2013年第3四半期に比べ進んだことから影響を受けました。これは、収益にマイナスの影響を与え、費用には有利に働きます。

2013年第4四半期において、インベスト・バンキング部門内の戦略的事業は、バーゼル3リスク加重資産1,560億米ドルを計上しましたが、これは、リスク加重資産削減策のさらなる進展によるものです。前年同期に比べ、2013年第4四半期のバーゼル3リスク加重資産残高は、80億米ドル減少しましたが、これは事業削減による220億米ドルが、手法の変更とパラメーターの更新による80億米ドルの増加とオペレーショナルリスク付加の60億米ドルによって相殺されたことによるものです。同部門の戦略的事業のレバレッジ・エクスポージャーは、2013年第4四半期末現在で7,250億米ドルで、2013年第3四半期末現在に比べ460億米ドル、すなわち6%減少しました。

非戦略的事業業績：インベストメント・バンキング部門の非戦略的事業業績には、債券の縮小ポートフォリオ、レガシー金利事業、主としてバーゼル3の枠組みに対応しない資本証券および資本配賦要件の高い仕組債、バーゼル3に対応しない社債に関連する資金調達費用、並びに以前からの訴訟費用及びその他の小規模の非戦略的ポジションが含まれています。

2013 年第 4 四半期に、インベストメント・バンキング部門の非戦略的事業は、税引前損失 5 億 2,500 万 CHF、純収益損失 8,700 万 CHF を計上しました。営業費用合計は、4 億 3,800 万 CHF で、前年同期及び 2013 年第 3 四半期をともに上回りましたが、これは主として係争中の抵当貸付関連の訴訟に対する訴訟引当金の大幅な増加によるものです。純収益損失は、前年同期及び 2013 年第 3 四半期のいずれからも減少しましたが、これは特に債券の縮小対象ポートフォリオの評価益によるものですが、これは多様なポートフォリオ運用方法を反映したものです。

2013 年第 4 四半期末現在の非戦略的事業のバーゼル 3 リスク加重資産は、200 億米ドルで、前年同期から 30 億米ドル減少しました。2015 年末までの目標額は 60 億米ドルです。また、2013 年第 4 四半期の非戦略的事業のレバレッジ・エクスポージャーは 870 億米ドルで、2013 年第 3 四半期末現在に比べ 60 億米ドル、すなわち 6%減少しました。2015 年末までの目標額は 240 億米ドルです。

コーポレート・センター

コーポレート・センターは、2013 年第 4 四半期に税引前損失 4 億 200 万 CHF を計上しました。これには、自社社債の公正価値評価損 1 億 8,000 万 CHF、ストラクチャード・ノート負債の借方評価調整に伴う損失 6,900 万 CHF、単独デリバティブの公正価値評価益 4,700 万 CHF が含まれており、この結果、自社社債の信用スプレッドの全体評価損 2 億 200 万 CHF が 2013 年第 4 四半期に計上されました。自社社債の評価損は、大半の通貨においてシニア債と劣後債の信用スプレッドが縮小したためです。2013 年第 4 四半期の業績には、また、事業再編費用 1 億 3,100 万 CHF、IT 構築関連費用 6,900 万 CHF、不動産売却益 6,800 万 CHF も含まれています。前年同期は 8 億 2,400 万 CHF の税引前損失、2013 年第 3 四半期は 5 億 5,900 万 CHF の税引前損失でした。

(注*) 基礎的及び調整済み費用ランレートの、GAAP によらない財務評価基準によるものです。下表では、基礎的業績を米国 GAAP 評価基準とほぼ直接比較できるように調整しています。基礎的業績の算定（経過期間の調整を含む）及び調整済み年率換算ベースの費用ランレートの詳細については、2013 年第 4 四半期業績の説明会用スライドをご覧ください。

基礎的業績調整表										
主な事項の概要 (単位: 百万 CHF)	コア税引前利益					株主帰属純利益				
	4 Q13	3 Q13	4 Q12	2013	2012	4 Q13	3 Q13	4 Q12	2013	2012
公表業績	428	688	385	4,461	1,888	267	454	263	3,069	1,349
公表株主資本利益率	-	-	-	-	-	2.5%	4.3%	2.9%	7.5%	3.9%
自社社債信用スプレッド動向による市場公正価値影響分	202	163	376	315	2,939	169	143	304	261	2,261
事業再編費用	131	38	285	394	680	98	30	190	290	477
IT 構築簡素化	69	40	0	128	0	57	31	0	103	0
訴訟関連引当金	473	0	227	473	363	338	0	134	338	230
事業売却	6	(14)	37	9	(388)	19	(144)	27	(96)	(336)
減損及びその他の損失	80	18	30	98	68	52	11	18	63	41
不動産売却益	(68)	0	(151)	(68)	(533)	(61)	0	(120)	(61)	(445)
英国繰延税金資産削減	-	-	-	-	-	0	173	0	173	160
基礎的業績	1,321	933	1,189	5,810	5,017	939	698	816	4,140	3,737
基礎的株主資本利益率	-	-	-	-	-	8.7	6.6	8.7	10.1	10.4

本プレスリリースでは、戦略的事業業績及び非戦略的事業業績をお知らせしています。既にお知らせしておりますとおり、2013年第4四半期に、クレディ・スイス・グループは、インベストメント・バンキング、プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメントの各部門内に非戦略的事業ユニットを設立し、コーポレート・センター内で非戦略的項目を分離し、これによって、経営資源を利益率の高い事業にシフトし、そのような事業の成長に集中できるようにしました。非戦略的事業の業績については、2013年第4四半期の英文財務諸表の「I - Credit Suisse Results - Credit Suisse - Information and developments」の「Format of presentation and changes in reporting」をご覧ください。

プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント事業部門における売却事業に関する収益、費用、売却関連益は、クレディ・スイス・グループの損益計算書に、廃止事業として区分表示しています。これに対して、これらの事業売却に関連した利益及び費用は、対応する事業部門の業績に含めていますが、基礎的業績には含まれておりません。詳しくは、2013年第4四半期の英文財務諸表の「I - Credit Suisse Results - Credit Suisse - Information and developments」の「Format of presentation and changes in reporting」をご覧ください。

本プレスリリースで言及しているコア業績の税引前利益は、継続事業の税引前利益を指しています。

###